

燃料費補填費用に関する計算方法について

市民バスの運行に係る燃料費補填に関する計算方法は、年度毎に次のとおりとする。

1 計算方法

$$\boxed{\text{年間燃料費補填費用} = ((B - (A \times 1.1^{\ast 3})) \times \text{消費税率})}$$

A：基準燃料単価を用いた年間燃料代

基準燃料単価は運行開始時（令和 8 年 4 月）の公用車等の軽油単価とし、総走行距離^{※1}と車両の燃費^{※2}から算出。

B：毎月の燃料単価を用いた年間燃料代

毎月の燃料単価は各月の公用車等の給油単価とし、総走行距離^{※1}と車両の燃費^{※2}から算出。

【積算根拠の説明】

※1 総走行距離

運行管理業務委託契約書（仕様書）記載の 1 便あたりの走行距離に運行実績便数を乗じた値を総走行距離とする。

※2 車両の燃費

運行に用いる車両により次の数値とする。

- | | | | |
|-----|---------|-------|---------|
| ・大型 | 4 k m/L | ・小型 | 6 k m/L |
| ・中型 | 5 k m/L | ・ワゴン車 | 7 k m/L |

※3 燃料費補填の考え方

燃料費の変動を想定し、年間燃料代が基準の 110%を超えた場合に、その超過金額を補填する。ただし、年間燃料費補填費用の値が正の整数の場合のみ補填する。

2 支払方法

各年度末に燃料費補填費用を支払う。